

住宅用火災警報器の設置が義務付けられます

新築住宅
既存住宅

平成18年6月1日から
平成23年5月31日まで

毎年、全国で建物火災により1,000人を超える方が亡くなっています。その9割が住宅火災で発生し、死亡原因の7割が逃げ遅れによるものです。これは、住宅は火災の発見が遅れやすいためといえます。

火災をいち早く発見し、痛ましい事故を防ぐことを目的として、すべての住宅に「住宅用火災警報器」を設置することが条例により義務付けられました。

これにより、新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅は平成23年5月31日までに住宅用火災警報器を設置しなければなりません。

住宅用火災警報器とは？

火災の熱や煙を感知して警報を鳴らして火災を知らせるものです。

電池式と家庭用電源式があり、火災とガス漏れを両方検

知できる複合タイプもあります。

煙を感知するものを「煙式」、熱を感知するものを「熱式」といい、設置は「煙式」が基本となります。

煙式（寝室・階段）
煙が火災警報器に入ると音や音声で知らせます。

熱式（台所・居室）
火災警報器の周囲の温度が一定の温度に達すると音や音声で知らせます。



天井取付タイプ



壁取付タイプ



NSマーク付製品を推奨します

購入方法や価格は？

自分で取り付ける場合は、消防用品取扱店、電気店、ホームセンターなどで購入できます。

新築等の場合は、工務店に相談してください。

価格は1台5,000～10,000円程度です。（取り付け工事費別）

設置場所は？

取付けなければならない場所（下図の印）

寝室

就寝中に火災を知るため

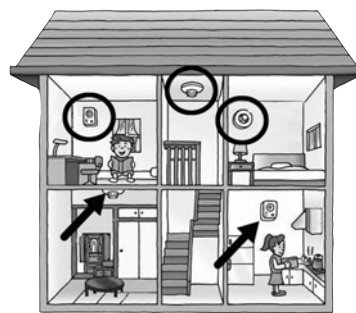
階段

火災の煙がまっ先に集まりやすいため

取付けることが望ましい場所（下図の矢印）

台所・すべての居室

火災が発生しやすい場所にも取り付けることでさらに効果的です。



悪質な訪問販売に注意！

不適正な価格、無理強い販売などを行う業者にご注意ください。（火災警報器はクーリングオフの対象です）
消防署員が訪問販売などを行うことはありません。

火災警報器に関する

相談・質問は

消防本部予防課予防係

☎ 24・11119

FAX 24・21119

ホームページ

<http://www17.ocn.ne.jp/fatoyoka/>

fatoyoka/

ナショナル石油暖房機に関する大切なお知らせ

1985～1992年製 F F 式石油暖房機は、重大な事故に至る危険性があります。直ちに使用を中止して、フリーダイヤル(☎0120-872-773)、または購入販売店へ連絡してください。

問合せ 生活環境課生活係

対象製品・品番	F F 式石油温風機		石油フラットラジアントヒーター
	製造：1985～91年 OK - 2525、OK - 2526 OK - 2535、OK - 2536 OK - 3525、OK - 3526 OK - 3527、OK - 3535 OK - 3536、OK - 3537 OK - 4020、OK - 4030 OK - 2526HA、OK - 3527HA OK - 4020HA	製造：1991～92年 OK - 302B OK - 303B OK - 402B OK - 403B	製造：1989～91年 OK R800C OK R800AC OK R500F OK R501F OK V501F OK U501AF